

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
3	創価大学	心理学概論 I	富岡 比呂子	2	春学期	月	15	10:45～12:15	創価大学	若干名

【到達目標】

心理学の歴史、さまざまな理論・研究について学ぶことを通して人間行動、発達についての理解を深める。知覚・認知・記憶・発達・学習・動機付けについて、基礎的な用語・概念を説明できるようにする。中間試験、期末試験では授業内で学んだ知識がどの程度定着しているのかを問う。また、中間・期末のふりかえりシートでは、自分の学びについての自己評価、感想、学習目標などについて明確に文章で表現する。

【授業の概要】

心理学とは、「こころ」を研究対象とする学問といわれますが、その領域は多岐にわたります。認知・知覚や記憶など心理学における一般法則を研究する基礎心理学と、基礎心理学の知見を活かして現実生活上の問題の解決や改善に寄与することをめざす教育心理学、臨床心理学、社会心理学などの応用心理学がありますが、本授業では、心理学全般について、歴史をたどることから始まり、基礎的な知識や理論を学びます。出席を重視しますので、皆さんの自発的・積極的な授業参加・発言を望みます。

講義を中心にしますが、随時視聴覚資料や心理分析(質問紙)を使用し、心理学の実践的側面にもふれていきます。また、学習ふりかえりシートを用いて、皆さんの学びを深めていきたいと思えます。

心の不思議や人間行動のしくみについての理解を深めることは、広い意味での自己理解・他者理解を促し、人生を豊かに生きるための一助となるでしょう。皆さんも心理学を学ぶことを通して、「心理学的にもものを見る・考える」視点を広げていきましょう。

【授業内容】

1. コースオリエンテーション シラバスの説明、スケジュールの確認、興味アンケートの実施
2. 心理学の歴史
3. 心理学の領域と研究方法
4. 情報処理・感覚と知覚について
5. 記憶について
6. 発達とは
7. さまざまな発達理論(ピアジェ、ヴィゴツキーなど)
8. 乳・幼児期—児童期の心理
9. 青年期—成人・老人期の心理
10. 中間テスト&ふりかえり
11. 学習とは
12. 動機づけ
13. 行動主義・帰属理論
14. マズローと基本的欲求
15. 総復習とふりかえり

【成績評価方法】

- 定期試験 40% 全授業を通じた知識の定着を評価するため、知識を問う問題、理論や事象を説明する問題を出題して評価する。
- 中間試験 25% 授業前半の基本的な知識の定着を評価するため、知識を問う問題、理論や事象を説明する問題を出題して評価する。復習を兼ねた小テストと考えていただきたい。
- レポート 10% 学びのふりかえりシートを中間と学期末の2回提出する(各5%×2=10%)
中間：授業前半の学びの自己評価、感想、後半の学習目標を問う
最終日：授業後半の学びの自己評価、初回との比較、学習目標の達成度、感想を問う
- 日常点 25% 毎回の授業終了後にグループで1枚学習シートを提出する。

【教科書】

1. 鈎 治雄・吉川成司(共著)『人間行動の心理学』北大路書房 2039円

【参考書、教材等】

1. 水田恵三『やさしい心理学』北大路書房 2310円

※ この授業は、4/11(月)が初回です。